

表 公共交通に係る課題・目標・事業まとめ

現状と課題	目標	目標指標	計画事業
<b>(1)公共交通をとりまく環境からみる課題</b> ①少子高齢化が進行し、今後も人口減少の継続が見込まれる ②高齢者の運転免許保有率の上昇が見込まれる ③運転免許のない高齢女性の単身世帯の増加が見込まれる ④生活施設が集積する市中心部、旧町村部中心部まで、日常的な移動が必要である  <b>(2)公共交通の現状からみる課題</b> ①旧三次市を中心に、公共交通空白地域が存在している ②長期的・全体的に公共交通の利用者数が減少している ③公共交通において非効率な運行サービスが存在している ④今後、公共交通の維持に必要な財源確保が厳しくなる	ア) 幹線交通と地域内生活交通が連携する公共交通体系の構築により、公共交通を誰もが利用できるような環境を整える	・公共交通の利用者数 ・公共交通空白地域の集落数	1. 路線バスの運行・改善 2. 市街地循環バスの運行・改善 3. 三次市民バス等の運行・改善 4. 自家用有償旅客運送の運行支援 5. 三次市民タクシー制度の改善・利用促進 6. 住民主導での移動手段確保への支援 7. 乗継環境の改善 8. 地域内生活交通検討会の開催 9. 地域公共交通の利用促進策の推進 10. 高齢者運転免許自主返納支援の推進
	イ) 公共交通に関して、可能な限りニーズに対応し、持続可能な運行サービスを整備することで市民の満足度を向上させる	・公共交通への評価	
	ウ) 地域内生活交通の改善・活性化等に関する地域住民の参画、幹線交通と地域内生活交通との接続環境の改善、公共交通に関する情報提供の充実等により、公共交通の利用を促進する	・公共交通の利用者数	
	エ) 将来にわたって持続可能な公共交通体系を実現するため、現在よりも市の財政負担が増加しないよう、非効率な公共交通の効率化やサービス内容の見直しを図る	・公共交通に係る本市の財政負担額	